

R7 社会教育推進研修 グループワーク

※SV（スーパーバイザー）、C（市民センター）

	参加者	連携の可能性
G		北六番丁小…まちたんけん→ 情報発信に力を入れたい。
		小学校…商店街、地域と連携 し、今後取り組んでいきたい。四ツ谷用水の学習を行っていた。
		・地域資源が多すぎて、どう活かしていくかが課題
		・おみやまち商店街企画のハロウィン
		・地域がまとまっている（小、中に加えて大学生も一緒にやっていけたらいい）
		→学校と地域をつないでみんなで活動していきたい。 それぞれが活動しているのを一緒にできたらいい。
	北六番丁小 教諭	五城中のボランティアはこどもたちの活躍の場。 中学生は忙しいが、地域の活動に。
	北六番丁小 SV	「 こども遊ばせ隊 」で 附属小企画のボッチャ に他の小学校も参加し、刺激を受けたので、今後の取組みとしてできたらいい。
	五城中 教諭	・様々な取り組みを学校へ伝えたい。→ HPは学校、市民センター、地域のリンク があるといい
	五城中 SV	・ 小学生と高齢者のつながり がない。
	福沢C 係員	→4年生の総合的な学習の時間で福祉を学ぶ。小学校は児童作品⇔市民センターは高齢者の作品で交流の場を。